講義名	マーケティング・データ分析 授業形態		その他			
meax m	· // // // // // // // // // // // // //		12.77.10	必要に応じて、授業中に配布、解説。		
担当教員	綿貫 真也	開講期・曜日・時限 前期 月曜日 3 時限				
1	muse sec	単位数 2 履修開始年次 2年生	ナンバリング・コ			
		TEXA INCIDING I IV. C.T.L.	- 4			
主題と概要 本議座では、ビミ	プネス・データサイエンスの基本的な活用方法について学びます。	. ビジネスの理場では、様々なデータを扱うことが多く。まずに	t いろんなデータが必要とされ、処理することが求められま	授業計画		
本講座では、ビンネス・データサイエンスの基本的な活用方法について学びます。ビジネスの理場では、様々なデータを扱うことが多く、まずは、いろんなデータが必要とされ、処理することが求められます。別なて、後のマーケティングを含めたビジネス作では、データの過去方法として、データサイエンス(人工知能・機様学的、短速制作者が、)の活用行わら始めています。生生の皆さんが、社会に入るころには、ビジネス現場でデータサイエンス(人工知能・機様学習・破難結論解析)の活用所力を持つことは、電車なみに当たり前のこととなるでしょう。大切なことは、無目的に技術をふりかざすことではなく、教徒と自的変表現するために、データサイエンス(人工知能・機様学習・破難結論解析)の活用を力を持つことは、電車なみに当たり前のこととなるでしょう。大切なことは、無目的に技術をふりかざすことではなく、教徒と自然を表現されるだめた。データサイエンス(人工知能・機様学習・数理影解析)などと断しいテクノロジーを知り、使しなせるようになることです。				1 . ガイダンス / これからのマーケティン 2 . マーケティング戦略と分析手法 / 各種	ゲ情報環境を知る (関係を関係を対して) 1 (
ではなく、戦略」	な目的を実現するために、テータサイエンス(人工知能・機械写	子宮・数埋続計解析)などの新しいテクノロシーを知り、使いこ	- なせるようになることです。 -	3 . 基礎統計と有意差検定~平均,分散の 4 . 基礎統計と有意差検定~平均,分散の	概念と確率分布について 1 概念と確率分布について 2	
				5. どんな製品にするのか?プロダクトノ・ドライバー分析:相関分析と回帰モデル6. どんな製品にするのか?プロダクトプ	ラジニングとデータ分析 1 -/ マルチレベルモデルと階層ベイズモデルの紹介 - ランニングとデータ分析 2	
				・ドライバー分析:相関分析と回帰モデル 7. どんな環境で勝負をするのか?市場の	/ マルチレベルモデルと階層ペイズモデルの紹介 変化と今後を予測する方法1:既存市場の推計	
				8 . どんな環境で勝負をするのか?市場の ・トライアル&リピートモデル	変化と今後を予測する方法 2 : 新規市場の推計	
				9 . 誰を狙つのか?セクメンテーションと ・消費者心理データ / 併売分析:クラスタ 1 0 誰を狙うのか?セグメンテーション	ターゲティンク戦略とテータ分析 1 一分析と機械学習アルゴリズムによるPredictive methods トターゲティング戦略とデータ公析 2	
到達目標				・消費者心理データ/併売分析:クラスタ 11:誰を狙うのか?伊売分析:クラスタ	一分析と機械学習アルゴリズムによるPredictive methods とターゲティング戦略とデータ分析 3	
				・ 消貨者の程ケータ / 研究が析: クラスタ 1 2 . 誰を狙うのか? セグメンテーション ・消費者心理データ / 併売分析: クラスタ	変化とら後を予測する方法 2 新規市場の推計 ー分析と機械学習アルコンズムによるPredictive methods ー分析に機械学習アルコンズムによるPredictive methods ー分析に機械学習アルコンズムによるPredictive methods とターグティン列戦略とデータ分析3 ー分析に機械学習アルコンズムによるPredictive methods ー分析に機械学習アルコンズムによるPredictive methods ー分析に機械学習アルコンズムによるPredictive methods ークサープ・フィースタースタースタースタースタースタースタースタースタースタースタースタースター	
(1) これからのマーケティング、ビジネスにおけるデータサイエンス (人工知能・機械学器・数理統計解析)の重要性と必要性を理解し、実際に、身近な問題に活用できるようになること。(2) 分析の結果から、わかったことを自分ないに設定するようになること。(3) ビジネスでは、さまざまな種類のデータを扱うということを理解し、そうしたデータが、皆さんの身の回りであふれているということ。				13.誰を狙うのか?セグメンテーション ・消費者心理データ/併売分析:クラスタ 14.その製品は競会に勝てるか?ポジシ	とターゲティング戦略とデータ分析5 一分析と機械学習アルゴリズムによるPredictive methods ョニング戦略とデータ分析1	
				・ブランド戦略と次元縮約手法の概念と2 15.競合に勝てる場所はどこか?ポジシ・ブランド戦略と次元縮約手法の実習	論 ョニング戦略とデータ分析 2	
				・フランド戦略と次元稲約手法の実習		
是出課題						
授業中の課題およ	び最終レポート			短光形化 / フトー・ゴー ニン・ト		
				授業形態 (アクティブ・ラーニンクア: PBL (課題解決型学習)		イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
				ウ:ディスカッション、ディベー	F	エ:グループワーク
				オ:ブレゼンテーション		カ:実習、フィールドワーク
				# : その他(A L 型であるけども、	、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	
			準備学修 (予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間			
理題 (レポート	・や小テスト等)に対するフィードバックの方法			予習復習が大切です。週4時間程度。		
	鍛えることを目的として、課題は実習を中心に行い、その場で、	フィードバックしていきます。				
				卒業認定・学位授与の方針と当該授		
平価の基準				・目標(1)(2)を身につけることで、 につけることでDP(1)- について、ア	マーケティング、ブランド戦略、小売業界、流通に関する問題探 ニータドリブン思考で捉えることができる	家、課題提案の受当性を客観的に検証するための具体的な手法を身につけることができる。目標(3)を身 受当性を客観的に検証するための具体的な手法を身につけることができる。目標(3)を身につけることで
授業中の課題:50%/最終レポート:50% 講義形式の変更があった場合でも成績評価方法は変更しない				DP(2) - について、データドリブン思	正葉や組織のリーケーに水のられる、具体的な以音集や解決集の: 3考で捉えることができる	女当性を各載的に快祉するだめの共体的は手法を分にプリることかできる。目標(3)を分にプリることで
履修にあたって	の注意・助言他			双方向授業の実施及びICTの活用に	閉する記述	
・プログラミングの事前知識や数学的知識を必要とはしません。つまり、理系的素養がなくても問題ありません。講義では、解説の都合上。数理について触れることがあります。しかし,数学的知識に関しては、中学生程度の数学的知識で理解できるように解説をします。公式の唱記や計算ではなく、イメージできるように講義を進めるので,数学が苦手でも心記する必要はありません。また,高度な数理に関					対する。 ・を用いて、その場で解析を行ってもらう場面を多い実践的な講義	内容です。
プログラミングの事前が認め数字的知識を必要とはしません。つまり、無変の宗曹がなくても問題かりません。は悪さは、解認の命らと、放尾について触れることがあります。しかし、放空的知識に関しては、中学生性色の安守的地域で無好できるように構築をはある。なが、近の確認や計算をはなく、ペメンできるように講像性色のもので、変が音手でや心がする必要はおりません。また、高度な数理に関して「計算せよ、などの課題は出しませんので,安かしてください。重要なことは、AIや機械字質アルゴリズムがマーケティング実務にどのように応用されるのか、どのようなことに応用できるのかについて考えることで、できることでは、AIや機械字質アルゴリズムがマーケティング実務にどのように応用されるのか、どのようなことに応用できるのかについて考えることで、 ・使用する解析プログラムは、教員が作成して準備しますので、プログラムが出来なくても心酔は敬めません・・・ ・・ニュース(関係)、ニュースアグリ、ネット、TVとは保険制のサブで、最近のビジネスの動物に敬めません・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						
・ニュー人(新国	『、ニュースアノリ、ネット、ⅠVなど殊体問わ9)で、最近のじ	ピンイスの動向に敬感になること。				
			実務経験の有無及び活用			
				「実務経験あり」。解析用データは、極力	」、実際にマーケティング実務で活用されているリアルデータを用	いて、講義を行います。
教科書						
.使用しない.		T T				
				備考		
参考図書			-			
		+				